

兵庫県神崎郡市川町でクロモンシタバを採集

坪田 瑛¹⁾

はじめに

クロモンシタバ (*Ophiusa tirhaka*) は南方系のヤガ科・シタバ亜科のガで (江崎他, 1999), 前翅は鶯色で, 後翅は黄色であり名前の由来になっている逆八字型の黒紋がある美しいガである。幼虫の食草はフトモモ科のバンジロウ (グアバ) やウルシ科のヌルデである。成虫出現月は6, 8, 9, 10, 11月であり, 本州では神奈川, 岐阜, 佐賀県などで確認されているが, 最近では福井県 (佐藤, 2004) や青森県でも採集記録がある。また兵庫県でもいくつかの報告 (松尾, 2010; 高尾, 2010) があるが, 筆者のように兵庫県の奥播州に住んでいる者にとっては珍しいガであることには違いない。

筆者は2016年9月に自宅のある兵庫県神崎郡市川町屋形でそのクロモンシタバの♀, 10月に♂それぞれ1匹を採集したので報告する。

1匹目のクロモンシタバ

2016年8月29日の夜, いつもガの写真撮影に行く市川町のとある場所に出向き一応の目ぼしいガの写真撮影を終えて帰途に就こうとしたとき, ふとフェンスの外側のコンクリートの端にクロモンシタバと思われるガを見つけたのである。写真1がその時の写真であり, 擦れていない美しい個体であった。フェンスの外側にいた

ためそのままにして急いで帰宅し「クロモンシタバ」であることを確認したのである。その後展翅標本作製のために一縷の望みを抱きながらほぼ毎夜同じ場所を訪れていたがクロモンシタバにはなかなか出会えなかった。しかしながら9月10日の夜ついに擦れてはいたがクロモンシタバを見つけたことができた。写真2がその時採集したクロモンシタバの展翅標本写真である。8月末に撮影したものと同一個体かどうかかわからないが, この付近にクロモンシタバが非常に少ないことと翅の擦れた状態から, 私は同一個体と考えている。この後翅の黒紋から採集したクロモンシタバは♀であることが分かる。

2匹目のクロモンシタバ

夜間の気温も低くなって来た10月23日の午後9時頃, 8月29日に♀のクロモンシタバが居たところに再度出かけると, 3mほどの高さの外壁にクロモンシタバが居るのを見つけた。持参していた小さな補虫網で捕らえたのが写真3および写真4の展翅標本である。後翅の黒紋から♂であることが分かる。写真3のクロモンシタバは前翅が擦れているが, 採集の際に網で擦れたと思われる。しかし, 比較的美しい個体であった。付近の山に幼虫の食草であるバンジロウは勿論生えていないが, ヌルデは生えておりこのヌルデがホストになったと



写真1 2016年8月29日に撮影したクロモンシタバ, 著者撮影。



写真2 2016年9月10日に採集したクロモンシタバの展翅標本, 著者撮影。

¹⁾ Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町



写真3 2016年10月23日に撮影したクロモンシタバ. 著者撮影.



写真4 写真3のクロモンシタバの展翅標本. 著者撮影.

も考えられるが推定の域を出ない. しかしながら, 写真1および写真3のように, 撮影した♀♂ともに綺麗な個体であったため, この付近で発生したものと考えている.

なお, 高尾(2010)で報告されている兵庫県加東市で採集されたクロモンシタバは♀ではなく♂であると思われる.

参考文献

- 江崎悌三・一色周知 他 共著, 1999. 改訂新版 原色日本蛾類図鑑(下). p.132, 保育社
- 佐藤友香, 2004. 福井市でクロモンシタバ (*Ophiusa tirhaca*) を拾得. 福井市自然史博物館研究報告, 51: 67.
- 松尾隆人, 2010. 段ヶ峰における南方系蛾2種の記録. きべりはむし, 33(1): 17.
- 高尾海星, 2010. 兵庫県加東市でクロモンシタバを採集. きべりはむし, 33(1): 18.